

# 編輯後記

前田聽瑞

「當世を化するは講話に如くはなく、將來に垂るゝは著述に若くは莫し。」

これは支那は西湖靈芝崇福寺の元照が常に其徒に語れる言葉であり、同時に又元照その人の信念であつた。わが鷹陵の學徒も亦この信念に住立し、常行法施、教授典攬、常に進一步の餘地を開拓せずんばやまざる覺悟と自信とを有する。わが文書部は本號發刊に際して、常に敬厚するわが鷹陵の少壯教授各位並に新進の學徒にその執筆を懇請依怙した。わが部は本號の刊行が學界に貢獻する所決して少からざるを確信し、併せて執筆者各位の健在を祈請するものである。終りに本號編輯の責を負ふてゐる自分が、偶々病を得たるため、編輯その他の仕事は千葉教授並にわが部の理事諸君の勞に待つた。

茲に特記して敢て感謝の意を表する。

昭和十一年二月

佛敎專門學校文書部

部長  
理事

前田	坂口	矢倉	漆間	椿	中正	中瀬
聽	龍	眞	純	秀	立	良
瑞	道	良	成	美	丈	雄